

簡易郵便局を訪ねて 97

温泉郷の一つ東鳴子温泉にある簡易郵便局。

東鳴子簡易郵便局（宮城県大崎市）



局長
尾形 李香



周辺の街並み

地域で頑張っている簡易郵便局を紹介します。



当局は一九六四年に私の祖父が、当時の鳴子町役場から受託依頼を受けて開局しました。

鳴子温泉の名前を聞いた方も多いかと思いますが、鳴子温泉は宮城県北部に位置する「鳴子温泉」「東鳴子温泉」「川渡温泉」「中山平温泉」「鬼首温泉」の五カ所の温泉地からなる一大温泉郷です。当局はその一つの東鳴子温泉にありますので、局名が東鳴子簡易郵便局



東鳴子簡易郵便局外観

郵便局となつています。東鳴子温泉は古くから湯治場として親

祖父が開局した当時は周辺は温泉街で、旅館が十軒ほど、商店なども多く賑わっていたといった話を聞きました。当時祖父は商店を営んでいて、役場からの受託で簡易局を開局しましたので、近所の方々によくご利用いただいていたようです。

祖父の後を継いで母が長く局長を務めていました。一九七六年に商店を改装し建て

替えるのと同時に、簡易郵便局の局舎を二階に移転しましたが、地域の高齢化が進み、二階まで階段を上るのがつらいとの意見もでていました。そのため二〇〇七年に店舗を縮小して、一階に局舎をもう一度移転することにしました。その頃になると周辺の旅館や商店も少なくなっていました。

私は子育てをしながら補助者として母と一緒に仕事をしておりましたが、二〇一七年三月に子育てもひと段落したこともあり、母から引き継ぎ局長となりました。今は母が補助者となり親子でがんばっています。

人口減少や高齢化が進み、局を取り巻く状況は変化していますが、来ていただいた方に分かりやすく丁寧な接客を変わることなく続けています。そしてお客様とのコミュニケーションは特に大切な事だ

と思っています。世間話をしたり、来局いただいた時には一言二言お



窓口の様子



声がけするよう心がけております。また温泉に来られた方が旅行貯金を目的に訪れることもあり、皆さん局名の入った押印を希望されるなど若い方にもご利用いただく機会もあります。

簡易局の仕事は地域の方々に支え支えられて続けられるものだと思います。これからもお役に立てるよう業務に励んでいきたいと思っています。

住所 〒986-0111 宮城県大崎市鳴子温泉赤湯一六―二

